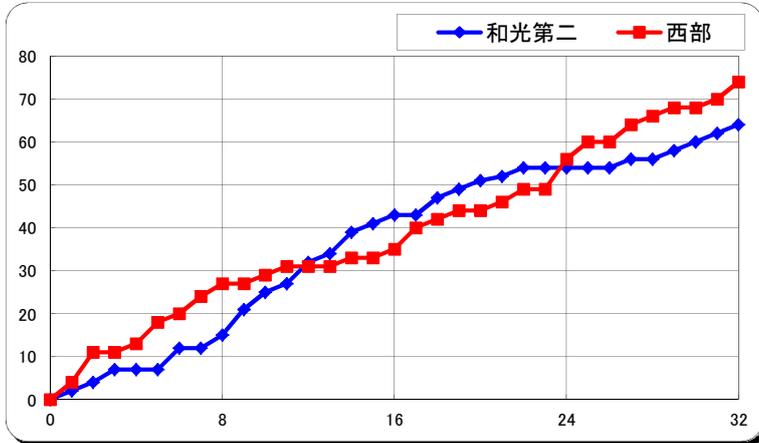




【得点経過】



大会名	東日本大震災復興支援平成24年度全国中学校体育大会第42回全国中学校バスケットボール大会																
会場	蓮田市総合市民体育館																
日時	平成24年8月22日(水) 13:30																
コート	Hコート	第4試合															
カテゴリー	男子	予選Hリーグ															
主審	佐賀雄幸 (宮城県)																
副審	佐藤友大 (山形県)																
Team A		Team B															
和光第二 (埼玉県)	64	西部 (高知県)															
	<table border="1"> <tr><td>15</td><td>1st</td><td>27</td></tr> <tr><td>28</td><td>2nd</td><td>8</td></tr> <tr><td>11</td><td>3rd</td><td>21</td></tr> <tr><td>10</td><td>4th</td><td>18</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	15	1st	27	28	2nd	8	11	3rd	21	10	4th	18	OT			74
15	1st	27															
28	2nd	8															
11	3rd	21															
10	4th	18															
OT																	

【BOXスコア】

Team A		和光第二						
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則	
4	川口 柊斗	×	11	1	4	0	0	
5	大崎 直人	×	6	0	2	2	0	
6	野島 大稔	×	20	4	4	0	0	
7	児島 和樹	×	7	0	2	3	0	
8	平岡 剣也	/	0	0	0	0	0	
9	中島 修平	×	18	0	8	2	0	
10	佐野 佑太	DNP	0	0	0	0	0	
11	中村 優太	DNP	0	0	0	0	0	
12	梅本 拓哉	DNP	0	0	0	0	0	
13	千葉 諒	DNP	0	0	0	0	0	
14	竹原 智輝	DNP	0	0	0	0	0	
15	浅井 輝	DNP	0	0	0	0	0	
16	前木場 一輝	DNP	0	0	0	0	0	
17	川口 颯太	/	2	0	1	0	0	
18	大藪 紹太	DNP	0	0	0	0	0	
監督	川端 優司						0	
コーチ	0						0	
合計			64	5	21	7	0	

Team B		西部						
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則	
4	堀内 星夜	×	10	2	2	0	0	
5	小谷 健太	×	23	0	11	1	0	
6	濱田 貴流馬	×	22	0	11	0	0	
7	樋口 伸仁	×	17	2	5	1	0	
8	樋口 貴仁	×	0	0	0	0	0	
9	澤村 光輝	DNP	0	0	0	0	0	
10	和田 祐紀	DNP	0	0	0	0	0	
11	山岡 莉久	/	2	0	1	0	0	
12	松岡 孝明	/	0	0	0	0	0	
13	橋田 康大	DNP	0	0	0	0	0	
14	大黒 翔太	DNP	0	0	0	0	0	
15	小田 凌真	DNP	0	0	0	0	0	
16	澤田 晶斗	DNP	0	0	0	0	0	
17	村田 祐樹	DNP	0	0	0	0	0	
18	野村 凜	DNP	0	0	0	0	0	
監督	大崎 大						0	
コーチ	建沼 友子						0	
合計			74	4	30	2	0	

【戦評】

1Q、両チームともマンツーマンDefでスタート。本日2試合目となり、テンポよくそれぞれのチームが点数を入れ合う。和光第二は左右にボールを展開する攻撃で点数を重ねる。一方、西部は1:1中心の攻撃での流れをつかむ。和光第二はタイムアウトでテンポを変えようとするがシュートがリングに嫌われる。和光第二15-27西部で終了。2Q、和光第二はスピードある走る攻撃を開始。その結果、約4分で一気に点数をつめる。西部は4:08でタイムアウト。西部は流れやテンポをかえるために2-1-2ゾーンDefに変える。西部は#5を起点にシュートがこぼれる。和光第二はその後も走り、数的優位をつくる。また1-2Q通して和光第二#6の3Pも効果的に決まっていた。和光第二43-35西部で終了。

3Q前半は一進一退の手に汗握る展開。西部はドライブやファーストブレイクが得点源となる。一方、和光第二はピックアンドロールを使った合わせで得点を重ねる。しかし、3Q後半西部#5のシュートが当たり始める。またスピーディーな攻撃も見られるようになり、残り13秒で西部が逆転。54-56で終了。勝負を決する4Qでも西部の勢いは止まらず開始早々と和光第二がタイムアウト。その後和光第二は#6などが粘り強くシュートを決めるが、西部の足は最後まで止まらず和光第二64-74西部で勝利を手にした。1つのボールを懸命に追い切った両チームに大きな拍手を送りたい。

【戦評記入者】

山本純人

埼玉県中学校体育連盟 バスケットボール専門部